

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表： 2025年2月14日

事業所名 児童発達支援センターCivitas Solis

保護者等数（児童数）：20(21)

回収数：19

割合：95%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	19	0	0	・活動の内容に合わせた環境設定であるとの回答があった。	・今後も子どもさんの様子を日々アセスメントし、特性に応じた環境設定を行えるようにしていく。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	15	0	2	・職員数や専門性等についてご意見があった。	・積極的に研修を受け、専門的スキルを持って支援を行えるようにしていく。また、職員間で工夫しながら支援していく。
	3 事業所の設備等はスロープや手すりの設置などのバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17	1	1		
適切な支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	19	0	0		
	5 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	19	0	0		
	6 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	19	0	0		
	7 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	17	2	0		
	8 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5	6	8	・併用利用できるように改善してほしいといったご意見があった。	
保護者への 説明等	9 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	19	0	0		
	10 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	18	1	0		
	11 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われている	16	3	0		
	12 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	19	0	0	・日々の連絡帳のやりとりを楽しみにしているとの回答があった。	・引き続き、より丁寧に細やかなやりとりを行うよう努める。
	13 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	19	0	0	・面談では、子どもの様子について細かく資料にまとめてあり、よく見てもらえているとの前向きな回答があった。	・引き続き、より丁寧に細やかなやりとりを行うよう努める。
14 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	16	3	0			

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保護者への説明等	15	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	17	1	1		
	16	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	19	0	0		
	17	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	15	4	0	・土曜開所について情報が知りたいといったご意見があった。 ・園だよりをいつも楽しく見ているとの前向きな回答があった。	・今後も継続して保護者の方に必要な情報の周知を行えるようにする。
	18	個人情報の取扱いに十分注意されている	18	1	0		
非常時等の対応	19	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	18	1	0		
	20	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	18	1	0	・スモールステップで避難訓練をしてもらえているので本人も参加しやすいとの意見があった。	・引き続き、本人の様子を踏まえ、スモールステップで避難訓練を行っていく。
満足度	21	子どもは通所を楽しみにしている	16	1	2	・とても楽しみに行ってきているといった回答がありました。	・子どもさんにとって成功体験となるよう、スモールステップで支援を行う。 ・保護者からのニーズを把握し、子どもさんの理解やスキルをアセスメントしたうえで課題を整理し目標設定を行って支援していく。
	22	事業所の支援に満足している	18	1	0	・丁寧な対応で安心して通わせることができている、誕生日のメッセージカードが嬉しかった等の回答があった。	・引き続き、より丁寧な療育を行っていきけるように努めていく。

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「【保護者等向け】児童発達支援事業所評価」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表

2025年2月14日

事業所名

児童発達支援センターCivitas Solis

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・今年度より、新しい建物で運営を行っている。 ・職員間で情報共有を行い、各エリアの人数調整を行っている。	・今後も子どもさんの様子を日々アセスメントし、特性に応じた環境設定を行えるようにしていく。
	2	職員の配置数は適切である	○		・配置基準に満たしているが、課題はある。	・積極的に研修を受け、専門的スキルを持って支援を行えるようにしていく。また、職員間で工夫しながら支援していく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・障害特性に応じてパーテーション等で環境設定を行っている。	・必要に応じて環境設定の見直しを行う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・支援終了後は職員で清掃を行っている。	・必要な箇所は適宜、修繕を行う。 ・感染症対策のため、おもちゃや室内の消毒を行う。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		・適宜、職員体制の見直しを行い、業務改善に繋げている。	・ミーティングでは、職員全体で業務の振り返りを行い、改善点を共有したうえで、共通認識で業務を行えるようにする。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・職員全体で保護者からの評価を共有している。	・評価表の結果に加え、日々の保護者とのやりとりでお聞きしたご意見についても職員で共有を行い、改善に繋げていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・ホームページにて公開している。	・事業所、保護者向け評価それぞれの結果を総合的に踏まえ、業務改善に努める。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・現在、第三者による外部評価は行っていない。今後法人全体で協議を行う。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・外部の研修を受講し、報告書などを通じて職員全体に共有を行っている。	・今後も積極的に研修を受け、専門的スキルを持って支援を行う。 ・研修終了後は職員間で共有し、職員全体で支援に活かしていく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・アセスメントを踏まえ、ニーズや課題を整理している。 ・年に2回モニタリングを行い、保護者との面談で計画を説明している。	・保護者からのニーズを把握し、子どもさんの理解やスキルをアセスメントしたうえで課題を整理し目標設定を行って支援していく。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・事業所内で共通のツールを活用し、アセスメントを行っている。	・アセスメントをもとに、個別支援計画を作成する。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・事業所内で共通の様式を使用し、領域ごとに必要な目標設定を行っている。	・アセスメントや保護者のニーズをもとに、個別支援計画を作成する。職員全体で協議を行い、支援プロセスを共有する。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・計画に沿った支援を行い、年に2回モニタリングを実施している。	・他国籍の利用児童も増加しているため、より分かりやすい説明を行えるようにしていく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・ミーティングを通して職員全体で情報共有や協議を行い、全員が共通認識で支援を行えるようにしている	・今後もミーティングを実施し、活動設定の目的や目標を確認し、職員全体で業務が行えるようにしていく。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・月ごとにローテーションで職員がプログラムを作成し、適宜見直しを行っている。	・今後も、活動が固定化しないように、活動内容の調整を行う。また、アセスメントをもとに活動の幅が広がるように支援していく。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		・社会性の段階に合わせてグループ編成を行い、活動を設定している。	・個別→小集団→集団とスモールステップで成功体験が積めるように支援していく。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・朝礼にて情報共有を行い、記録をとっている。日々の連絡事項や役割分担はボードにて示している。	・記録やボードを活用して、職員全体が共有できるように努める。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・支援終了後には、職員間で情報共有を行っている。	・必要に応じて記録をとり、職員全体で共有を行う。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・障害特性を軸にケース記録にまとめ、個別支援計画を作成に繋げている。	・今後も、日々の支援の記録をとり、支援の検証や改善に繋げていく。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・年に2回、モニタリングを実施し、個別支援計画を作成している。支援の方向性等について、保護者と面談の機会をつくり、説明を行っている。	・定期的なモニタリングを行い、計画作成を実施する。 ・面談を通して、保護者のニーズを把握し、課題を整理する。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・ケースによっては会議に参加し、関係機関との連携を行っています。	・必要に応じて、関係機関との情報共有を行い、多機関連携を行う。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・市の保健師と連携を図り、ケースについての情報共有を行っている。	・必要に応じて、関係機関との情報共有を行い、多機関連携を行う。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		・現在、医療的ケア児の受け入れを行っていない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		・現在、医療的ケア児の受け入れを行っていない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・移行を検討しているケースについては、幼稚園等と情報共有を行っている。	・子どもさんの障害特性に応じた必要な支援について、関係機関との情報共有を行う。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・小学校との移行支援会議を実施している。	・子どもさんの障害特性に応じた必要な支援について、関係機関との情報共有を行う。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・年に2回、他の児童発達支援センターと共同開催し、広島県発達障害者支援センター職員より保護者向けの学習会を実施している。	・他の児童発達支援センターや発達障害者支援センターとの連携を行う。積極的に研修に参加し、職員の専門スキルを高めていく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		・現在は実施していない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		・現在は参加できていない。地域の特性や課題を把握するためにも、今後参加を検討していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・送迎時や連絡帳でのやりとり、面談等で日々の状況や支援の方向性について共有をしている。	・共通理解を図り、支援に努めていく。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		・家庭訪問を通じて、家庭での困り感をお聞きし、保護者とともに対応方法などについて整理している。	・今後も家庭訪問を実施し、ご家庭での困りごとの整理、対応方法について一緒に考えていく。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に説明を行っている。	・分かりやすく丁寧な説明を心がけます。変更等があった場合には、随時説明を行う。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・面談時に計画の説明を行い、同意を得ている。	・子どもさんの状況や今後の支援の方向性を踏まえ、個別支援計画をもとに支援内容の説明を行う。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・送迎時や連絡帳でのやりとり、必要に応じて電話連絡や面談を実施し、相談対応を行っている。	・保護者の子育ての困り感に対する相談を行う。さらに、障害特性に基づく対応方法を一緒に整理し、提案していく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・保護者会や茶話会での運営を支援している。	・今後も保護者会の運営を支援していく。必要に応じて、事業所が入り、保護者同士のより良い連携が出来るようにサポートする。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・苦情窓口を設置し、体制を整えている。 ・保護者から直接ケース担当に相談される場合が多い。	・保護者より相談や申入れがあった場合は、速やかに適切な対応を検討していく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・定期的にお便りを作成し、行事や活動内容についてお知らせしている。	・今後も継続して保護者の方に必要な情報の周知を行う。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・関係機関と連携を図る際には、保護者に同意を得たうえで実施している。	・事業所、法人全体で個人情報の取り扱いに十分注意して業務にあたる。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・保護者に様々な方法で理解していただけるように努めている。	・他国籍のご家庭の利用が増えているため、より分かりやすい説明を行っている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		・地域住民への広報活動、および来訪者への見学対応を行っている。	・現在、地域住民を対象とした行事企画を行っていない。 ・保護者や地域住民のニーズを踏まえ、活動内容を検討していく。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・各マニュアルの策定を行っている。	・マニュアルをもとに、必要な対応方法を職員全体で共有する。保護者への周知には至っていないため、今後必要に応じて情報提供を行う。 ・継続して避難訓練を実施していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・災害時に備えて、毎月職員子どもさん全員で訓練を実施している。	・継続して避難訓練を実施していく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・服薬、予防接種等は保護者より伝達していただいている。	・事前に十分に確認を行ったうえで、対応を行う。 ・変更等があった場合には、職員全体で共有する。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・医師からの指示書のもと、アレルギー対応に関する確認書を作成している。	・給食やおやつを提供時にはアレルギーについて十分に注意し、厨房職員や提供する職員がそれぞれ確認を行う。 ・変更等があった場合には、職員全体で共有する。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・ヒヤリハット発生時には、書面にまとめ、職員全体で共有している。	・怪我や事故の発生状況や要因を整理し、再発防止に努める。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・虐待防止についての研修をうけ、職員全体で共通認識を持つようになっている。	・定期的に研修機会を設け、適切な対応に繋げていく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		・3原則に基づき、子どもさんの障害特性等から必要な対応がある場合は、保護者に説明を行い、同意を得て支援を行っている。また、書面への記載を行っている。	・定期的に研修機会を設け、正しい対応方法に繋げていく。 ・必要な対応方法がある場合は、事業所全体で協議し、保護者の了承を得て行う。

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。